

鶴岡WBCプロジェクト 若手職員政策提案

β チーム テーマ②

にこふるフリースペース整備事業

●メンバー

子育て推進課
管理課
羽黒庁舎市民福祉課

佐藤 直豊
難波 拓実
齋藤 綾乃

健康課
朝日庁舎総務企画課
市民課

小松 美菜子
須貝 俊太郎
宮崎 亜衣

はじめに

鶴岡市で「こどもまんなか社会」を実現するためには、

**鶴岡の子ども・若者を取り巻く課題を把握し
政策に反映させる必要がある。**

こども・若者の意見を集めてみました。

こども
まんなか



意見収集①アンケート調査結果より

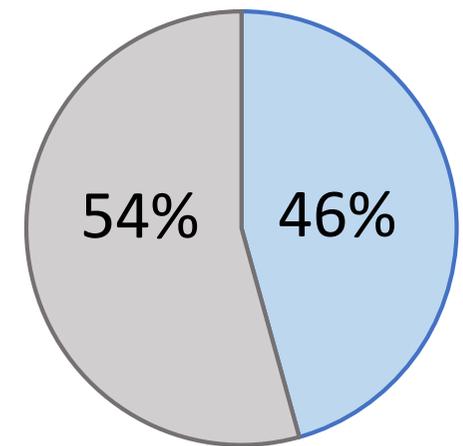
令和5年7月に本市政策企画課で

「つるおか若者意識調査2023」を実施しました。

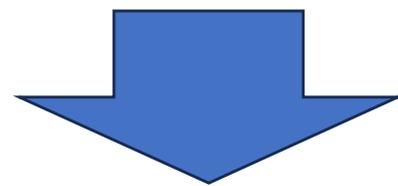
結果

高校生の約半数が平日の放課後にカフェや待合スペースなどの施設を利用している。

高校生の放課後の居場所



■何らかの施設を利用している
■利用していない



しかし、既存の施設では席数が足りないため、

「学校・自宅以外の居場所がほしい」

といった意見も出されました。

意見収集②聞き取り調査より

WBC βチームで荘銀タクトのフリースペースを利用している高校生に
インタビューを実施しました。

結
果

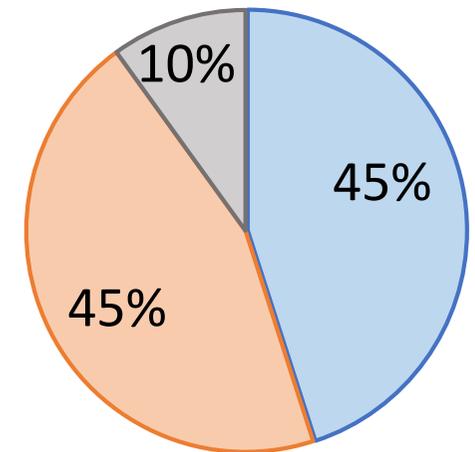
荘銀タクトを利用する理由

→学校から近く、静かな場所で勉強（迎え待ち）を
することができる。

しかし、テスト期間になると…

図書館や荘銀タクトに多くの生徒が来るため、
机やイスが足りなくなり、勉強できないことがある。

荘銀タクトでの過ごし方



■勉強
■勉強+迎え待ち
■迎え待ち

「学習スペースを増やしてほしい」

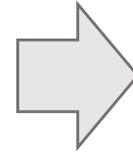
と訴える声が多いと判明しました。

問題・課題の仮定

アンケートやインタビューより、すでに学習スペースの不足が訴えられている。



令和6年4月に
致道館中学校・高等学校が開校



確実な生徒数の増加と
遠方地域より送迎増加が見込まれる。



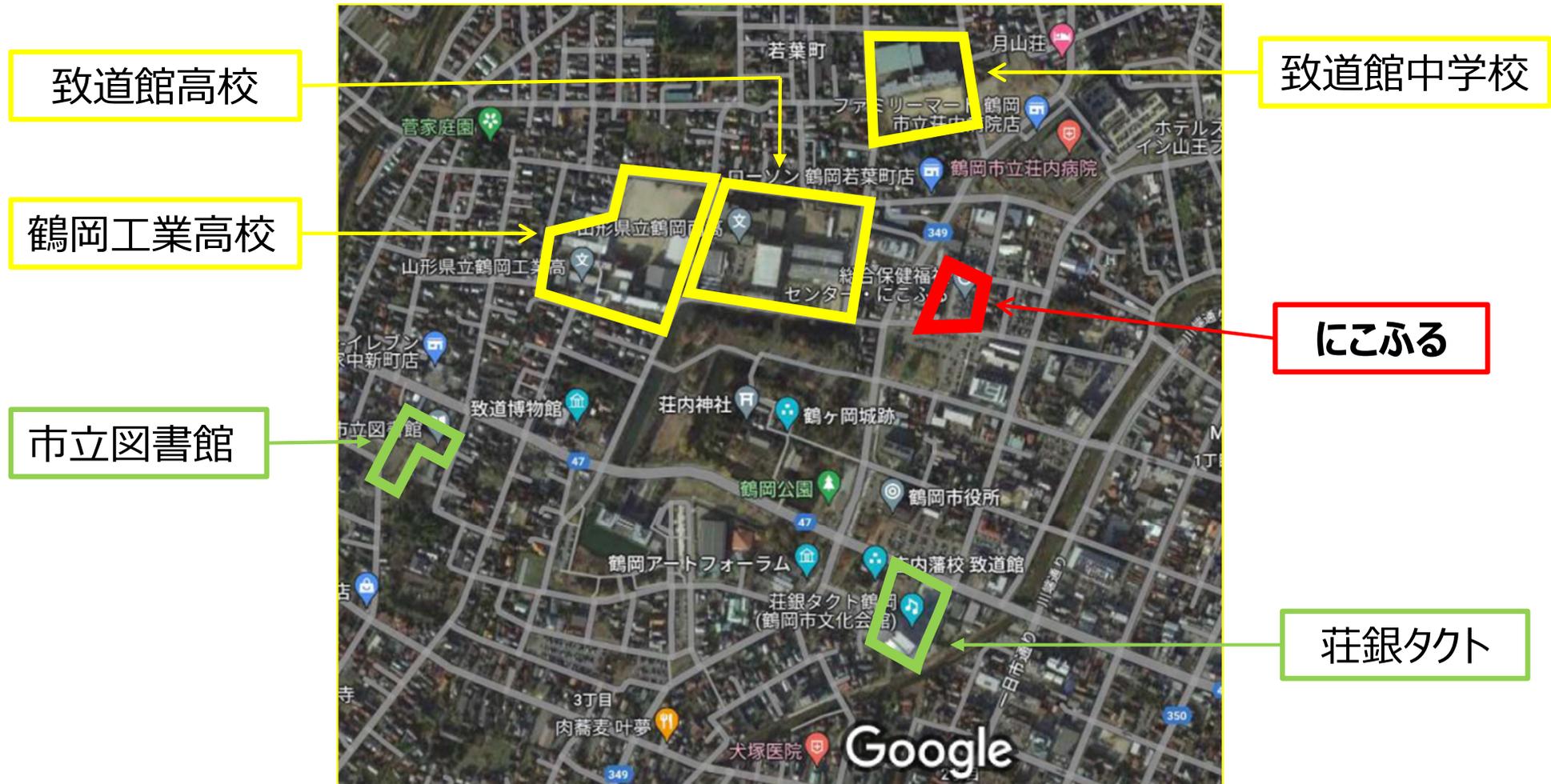
学校周辺の居場所が、さらに不足

することが考えられます。

課題

中高生の放課後の居場所づくりが必要

居場所の選定



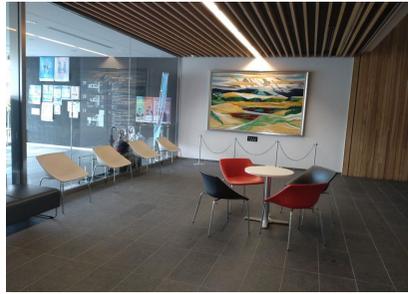
致道館中高と鶴岡工業高校からも近い「**にこふる**」が良いのでは？

にこふるの現状

中高生の利用者が少ない要因

- ・南口（駐車場側）の施錠が17時15分と早い
- ・南ラウンジはイスに対して机が少ない
- ・冬期間は玄関付近が寒い
- ・灯りが間引いてあり、暗い
- ・1FのWi-Fi環境が無い

現在の南ラウンジ



強み

- ・駐車場が二か所あり、広さと利便性も十分
- ・市内中心部の学校から近い
- ・人の目が届くため安全
- ・バス停が近い

正面玄関前駐車場



課題を解決することで、

中高生が使いやすい環境になるのでは？

政策提案

中高生の意見



学校・自宅以外の
居場所が欲しい！



学習スペースを
もっと増やしてほしい！

公共施設を
有効活用したい！



行政の思い

高校生からニーズがある放課後の送迎待ちや
学習に使えるスペースとして、

にこふるフリースペース整備事業

を提案します。 8

事業イメージ

今のにこふるの課題を解決し、中高生たちのニーズに応える居場所にするため、調査を基に以下の整備を行います。

中高生の利用者が少ない要因（再掲）

利用時間

・南口（駐車場側）の施錠が17時15分と早い



整備内容

場所：にこふる1階 南ラウンジ・情報体験コーナー

平日**8時30分～19時**を利用時間とします。
(1時間45分延長)

席数

・南ラウンジはイスに対して机が少ない



16席を用意（勉強等に使いやすいイスと机を増設）

その他環境

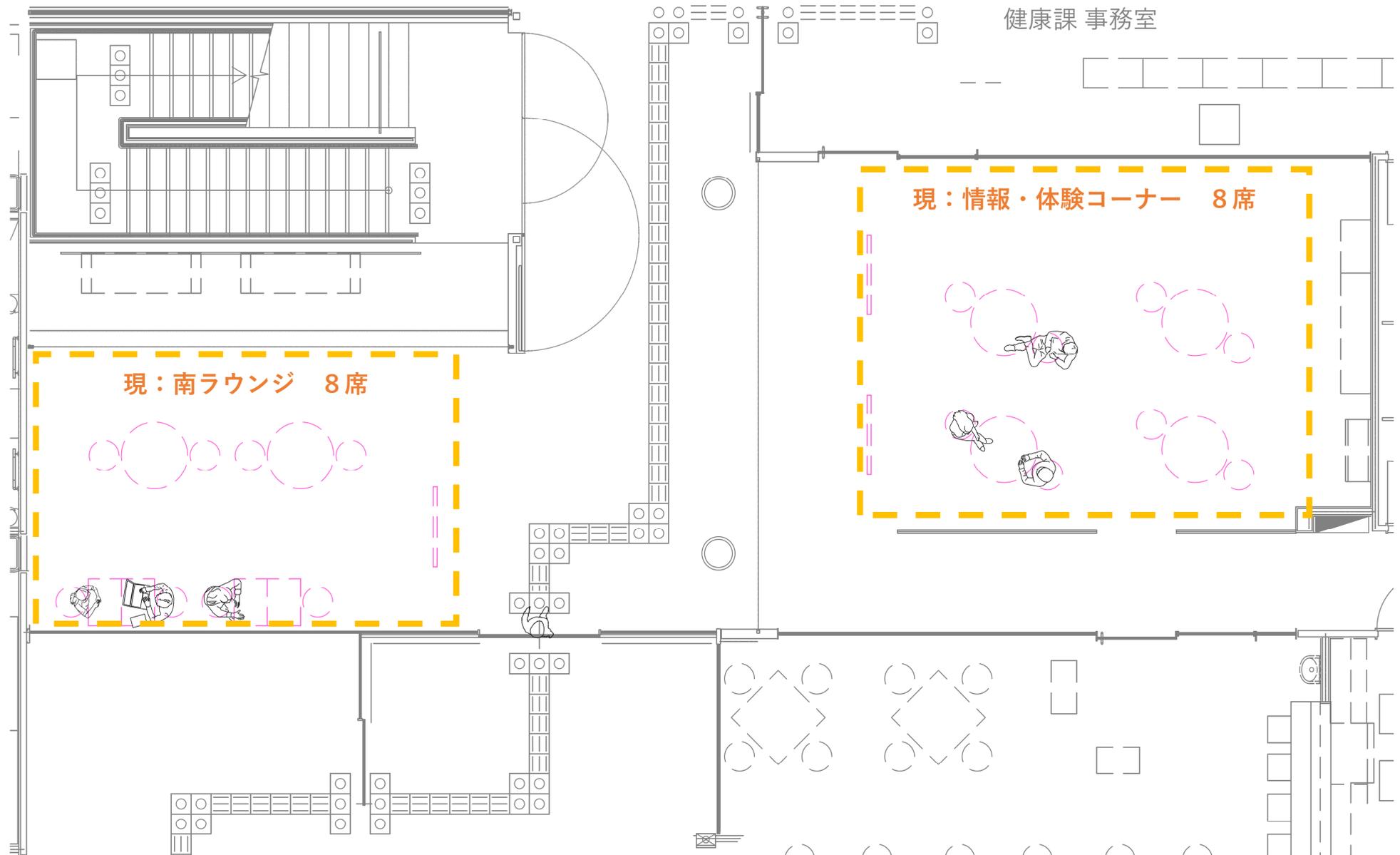
・冬期間は玄関付近が寒い
・灯りが間引いてあり、暗い
・1FのWi-Fi環境が無い



利用時間内は、温度・明るさを快適に保ち、さらにWi-Fi環境を整備します！

事業イメージ

にこふる南側フリースペース レイアウト (案)



南側出入口

期待される効果

にこふるを整備することにより、以下の2つを実現することができます。

- ① 荘銀タクト・図書館などとあわせ、
学校が集中する地区の学習スペースを確保

- ② 屋外で迎え待ちをしている生徒の
夏場の熱中症対策、冬場の寒さ対策



中高生の放課後の居場所不足を解消